



2024年6月期第1四半期  
決算補足資料  
2023年11月14日

**DNホールディングス株式会社**  
(東京証券取引所スタンダード市場 7377)

# 第1四半期決算 業績ハイライト

## はじめに

当社は、2021年7月14日付で共同株式移転の方法により、大日本コンサルタント株式会社及び株式会社ダイヤコンサルタントの共同持株会社として発足いたしました。今期は設立第3期目となります。

## ポイント

- 建設コンサルタント事業の進捗が鈍化したことにより、売上高は前年同期を下回りました。売上高の減少に加え、積極的な人的投資等による固定費増加が影響し、減収減益となりました。
- 契約工期が3月に集中するために、業務の進捗度は第3四半期に偏る傾向があります。

(単位：百万円)

区分	2023年6月期	2024年6月期	前年同期比		通期業績予想	
	第1四半期(実績)	第1四半期(実績)	増減	比率	計画	進捗率
売上高	6,789	5,939	△850	87.5%	34,500	17.2%
営業利益 (△損失)	194	△501	△695	—	2,400	—
経常利益 (△損失)	210	△493	△704	—	2,450	—
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益(△損失)	121	△368	△489	—	1,700	—
1株当たり当期 (四半期) 純利益(△損失)	15円15銭	△45円80銭	△60円95銭	—	211.27円	—

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

# 第1四半期決算 受注・売上状況（事業別）

## ポイント

- ▶ 建設コンサルタント事業の受注は若干減少しましたが、地質調査事業の受注が前年同期を上回り、事業全体としての受注高は前年同期を上回る結果となりました。

（単位：百万円）

## 受注・売上状況

事業区分	受注高				売上高			
	2023年6月期 第1四半期 実績	2024年6月期 第1四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率	2023年6月期 第1四半期 実績	2024年6月期 第1四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
建設コンサルタント事業	7,183	7,047	△135	98.1%	5,744	4,824	△919	84.0%
地質調査事業	775	1,110	335	143.3%	1,045	1,115	69	106.6%
合計	7,958	8,158	199	102.5%	6,789	5,939	△850	87.5%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 事業内容

事業区分	主要業務	主要な会社名
建設コンサルタント事業	社会資本整備に関するコンサルタント業務のうち、調査・計画・設計・工事監理など	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd. N E テクノ株式会社
地質調査事業	地質・地盤・地下水・資源の調査・解析	大日本ダイヤコンサルタント株式会社 有限会社エーシーイー試錐工業



# 第1四半期決算 受注・売上状況（顧客別）

## ポイント

- ▶ 受注高（顧客別）は、地方自治体の受注が前年同期より減少していますが、中央省庁、電力関連会社及び民間その他の受注が前年同期より増加し、国内事業全体としては順調に推移しています。

## 受注・売上状況

（単位：百万円）

事業区分	受注高			
	2023年6月期 第1四半期 実績	2024年6月期 第1四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
国内事業	7,753	8,107	354	104.6%
◆ 中央省庁	1,984	2,609	625	131.5%
◆ 地方自治体	4,375	3,149	△1,226	72.0%
◆ 高速道路会社	534	635	100	118.8%
◆ 電力関連会社	106	564	458	530.4%
◆ 民間その他	752	1,149	396	153.7%
海外事業	205	50	△154	24.7%
国内・海外事業合計	7,958	8,158	199	102.5%

売上高			
2023年6月期 第1四半期 実績	2024年6月期 第1四半期 実績	前期比 増減	前期比 比率
6,601	5,884	△716	89.1%
2,296	1,909	△387	83.1%
2,134	1,966	△168	92.1%
638	636	△2	99.7%
418	561	143	134.3%
1,112	811	△301	72.9%
188	54	△134	28.8%
6,789	5,939	△850	87.5%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

# 第1四半期決算 連結貸借対照表

## 決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 期末	2024年6月期 第1四半期	増減額	前期比	備考欄
流動資産	14,018	13,423	△595	95.8%	主な内訳 ・受取手形及び売掛金：425百万円 引渡しが完了した受注業務のうち、未入金の金額 ・契約資産：10,410百万円 進捗度に基づく売上高に対する未入金の金額
固定資産	7,006	7,063	56	100.8%	
資産合計	21,025	20,486	△538	97.4%	
流動負債	6,888	7,394	505	107.3%	経営統合に伴う、金融機関からの資金調達残高 1年内返済予定：220百万円 1年超：826百万円
固定負債	2,280	2,109	△171	92.5%	
負債合計	9,168	9,503	334	103.6%	
純資産	11,856	10,982	△873	92.6%	
負債純資産合計	21,025	20,486	△538	97.4%	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 財務指標

自己資本比率	56.3%	53.5%	△2.8%	95.1%
1株当たり純資産	1,471円35銭	1,362円80銭	△108円55銭	92.6%

# 第1四半期決算 連結損益計算書

## 決算概要

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 第1四半期	2024年6月期 第1四半期	増減額	前期比	備考欄
売上高	6,789	5,939	△850	87.5%	➤ 収益認識に関する会計基準の適用に伴い、進捗度に基づき売上高を計上
売上総利益	2,007	1,587	△420	79.1%	建設コンサルタント事業 4,824百万円 地質調査事業 1,115百万円
販売費及び一般管理費	1,813	2,088	275	115.2%	
営業利益 (△損失)	194	△501	△695	—	➤ シナジー効果の発現に向け、事業会社においてPMI活動を実施
経常利益 (△損失)	210	△493	△704	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△損失)	121	△368	△489	—	

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 財務指標

自己資本当期純利益率	1.2%	△3.2%	△4.5%	—
総資産経常利益率	1.1%	△2.4%	△3.4%	—

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）

## ポイント

(研究開発費)

- 新たな成長ステージとサステナブル社会の実現に向けて、研究開発費予算を増加
- 防災・減災分野をはじめする、事業会社の合併に伴うシナジー効果発現に向けた研究開発の実施

(設備投資)

- テレワークを活用したオフィス環境の整備
- DXによる生産性向上

## 発生状況

(単位：百万円)

区分	2023年6月期 1Q	2024年6月期 1Q	前年同期比		通期計画	進捗率
	実績	実績	増減	比率		
研究開発費	25	42	17	170.7%	250	17.2%
設備投資	110	113	2	102.6%	724	15.7%
減価償却費	103	99	△4	95.8%	441	22.5%

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 主な実施事項

- 業務自動化ツール（RPA）導入による業務効率化、社員ITスキルの向上
- 関東支社におけるフリーアドレス化の実施

# 2024年6月期 業績見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
通期計画	34,500	2,400	2,450	1,700

## 2024年6月期連結営業利益計画（詳細）

(単位)百万円	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期 (計画)	増減
売上高	32,580	34,500	1,920
原価・販管費	30,389	32,100	1,711
営業利益	2,191	2,400	209

### 【計画の前提】

- 売上拡大**  
 経営資源の相互活用によるシナジー効果の創出  
 脱炭素事業（風力・バイオマス・原子力発電関連業務）、  
 自衛隊施設関連業務を見込んだ売上高の増加
- 売上原価・販売管理費の増加（人的投資）**  
 売上高増加に伴う変動費増に加え、  
 従業員に対する給与水準の引上げ、事業拡大に伴う人員  
 増、福利厚生、教育訓練の充実、設備増強
- 事業拡大に向けた投資費用**  
 インフラマネジメント手法の確立  
 i-Construction BIM/CIM 生成AI技術等の研究開発  
 研究開発成果の事業化 DX促進



# 2024年6月期 配当予想

## 配当予想

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末
通期計画	—	—	—	65円

## 配当方針

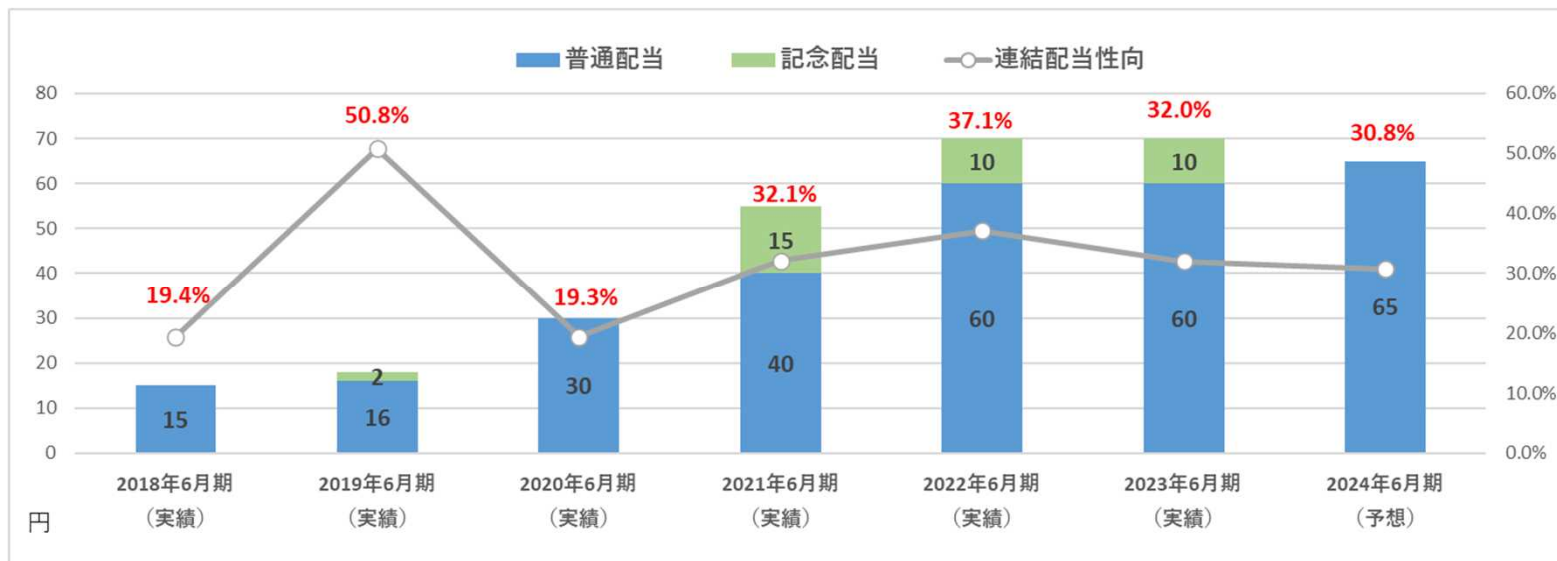
■ 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と自己資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を基本とします。

■ 連結配当性向30%以上を当面のターゲットとして、株主の皆様への安定的な配当の継続に努めます。また、市場環境や資本効率の状況などによって、自己株式の取得についても適宜実施する可能性があります。

■ 内部留保資金は、将来の事業展開を見据え、持続的成長に向けた戦略的投資、財務レバレッジの向上と財務健全性の確保、持続的・安定的な株主還元の項目にバランスを取りながら効果的に活用することで企業価値の向上を目指します。また、自己株式の取得は、機動的な資本政策の遂行を可能とすることなどを目的として、その必要性、財務状況、株価水準等を勘案して適宜実施します。

## 参 考

1株当たり配当金



当社は2021年7月14日付でテクニカル上場により東京証券取引所に新規上場したため、2021年6月期迄の実績値は、参考として大日本コンサルタント株式会社の配当金実績を示しています。

2024年6月期の連結配当性向は、2023年8月10日に公表いたしました通期業績予想に基づき算定しています。

# 構造保全分野 | 2023年度グッドデザイン賞受賞 | 気仙沼湾横断橋



所在地：宮城県気仙沼市

大日本ダイヤコンサルタント株式会社が設計を担当した「気仙沼湾横断橋」が、公益財団法人日本デザイン振興会より2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。

受賞企業：国土交通省 東北地方整備局  
仙台河川国道事務所 /  
大日本コンサルタント株式会社  
事業主体名：国土交通省 東北地方整備局  
仙台河川国道事務所

受賞番号：23G151231  
利用開始：2021/03/06

(参考)

グッドデザイン賞は、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨のしくみです。

60年以上にわたり「Gマーク」とともに広く親しまれながら、デザインによって、暮らしや社会をよりよくしていくための活動をしています。



# 社会創造分野 | 2023年度グッドデザイン賞受賞 | 一宮の路上建築群



大日本ダイヤコンサルタント株式会社がプロデューサーとして参画した「ストリートファニチャー 一宮の路上建築群」が、公益財団法人日本デザイン振興会より2023年度グッドデザイン賞を受賞しました。

受賞企業：アンビエントデザインズ株式会社

事業主体名：一宮市

受賞番号：23G151228

利用開始：2021年10月

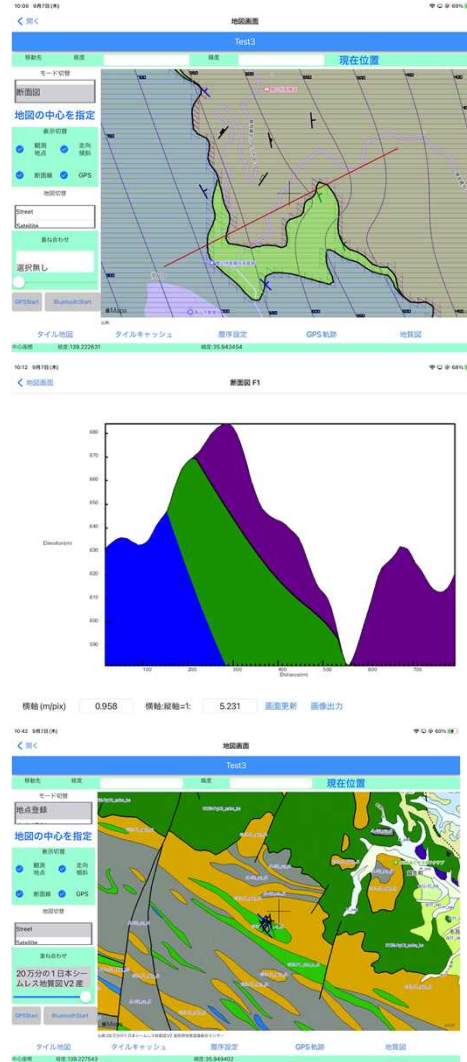
設置場所：愛知県一宮市栄3丁目周辺 銀座通りの道路上



写真上・右：大竹 央祐

写真左：アンビエントデザインズ株式会社

# 国土保全分野 | ダイヤ電子野帳 (DDY) の開発 (DX推進・技術開発)



大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、ジーエスアイ株式会社と共同で、現地作業の効率化を目的とした地質踏査のDX化を図るため、ダイヤ電子野帳 (DDY) を開発しました。

このアプリは、数値地図をiPadに取り込み、走向傾斜を入力することで地質図が描画される地質踏査のデジタルゼーションツールです。

電子野帳の登場は、従来からの地質踏査方法を画期的に革新する地質踏査のDX革命です。

現在テストのため、iPadアプリのベータ版を公開しています。詳細はQRコードをご参照ください。



※iPadはApple inc.の登録商標です。





## SDGs達成に向けた課題とチャンスを探るレポート 「2030年までの道筋：地方自治体SDGs達成度評価 2023」を公表

国際連合地域開発センター（UNCRD）は、**大日本ダイヤコンサルタント株式会社**が参画する『地方自治体SDGs達成度評価』編集委員会を設置し、レポート「2030年までの道筋：地方自治体SDGs達成度評価2023」を作成しました。

このレポートでは、2023年をSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた「折り返し点」と捉え、56の客観的な指標を用いて、日本全国の地方自治体（47都道府県、1788市区町村）のSDGs達成状況と傾向を、地域特性やゴールごとに評価・分析しています。



# サステナビリティ | 高知県梼原町より寄付に対する感謝状を授受



大日本ダイヤコンサルタント株式会社は、高知県梼原町（梼原町長：吉田尚人）が掲げる次世代へより良い環境を引き継ぐ社会を実現するための取組みである「梼原令和の森林づくり事業」の推進に対し、企業版ふるさと納税による寄付を実施し、2023年9月22日（金）、感謝状を授受致しました。

サステナブルな社会を実現する取り組みは、まさしく弊社の企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」そのものです。

社会のニーズやすべてのステークホルダーからの期待に応え、企業理念と企業行動憲章に則ったESG経営を推進することで、持続可能で「人と自然が微笑む社会」の実現に貢献してまいります。

# 統合報告書2023発行のお知らせ



DNホールディングス株式会社は、この度『統合報告書2023』を発行致しました。

企業理念「大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く」のもと、サステナビリティ経営により、どのような方向を目指していくのか。SDGs への貢献だけでなく、社会課題を解決することによって自らの持続的な成長、長期利益を実現するための基盤と戦略を、財務・非財務の両面から説明しています。

## 『統合報告書2023』の概要

- DNホールディングスについて：企業理念、価値観、ビジョン | あゆみ | 財務・非財務ハイライト
- 目指す未来（ビジョン）：トップメッセージ | 価値創造プロセス | 中期経営計画2026
- 成長戦略：大日本ダイヤコンサルタント始動 | 分野別事業紹介 | 研究開発
- サステナビリティ経営：DNホールディングスのサステナビリティへの考え方
- データセクション：財務・企業情報

# IRメールマガジン

投資家及び株主をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆様に、当社をより一層ご理解・ご関心いただけるよう、最新のIR情報をタイムリーにお知らせします。

配信をご希望の方は、下記配信登録フォームより登録をお願いします。

URL : <https://www.dcne.co.jp/IR/mailmagazine>



メールアドレスをご登録いただいた皆様に対して、以下の情報をメール配信いたします。

- ・ T D n e t、 E D I N E Tを通じて公表した決算短信、有価証券報告書、適時開示等の情報
- ・ コーポレートサイトに掲載したニュースリリース等の情報
- ・ コーポレートサイトの一部新設、更新等の情報
- ・ その他、皆様へお知らせすべき情報

# 会社概要

名称	DNホールディングス株式会社	
英文名	DN HOLDINGS CO., LTD.	
所在地	東京都千代田区神田練塀町300番地	
設立日	2021年7月14日	
資本金	20億円	
事業内容	建設コンサルタント事業及び地質調査事業等を営む子会社等の経営管理 及びこれらに附帯又は関連する一切の事業	
取締役	代表取締役社長執行役員	新井 伸博
	代表取締役副社長執行役員	野口 泰彦
	取締役副社長執行役員	楠本 良徳
	取締役（監査等委員（常勤））	吉村 実義
	取締役（監査等委員（非常勤））	林田 和久
	取締役（監査等委員（非常勤））	井上 毅

# DNホールディングスグループ会社の概要

商号	本店所在地	設立年月	資本金	出資比率	決算期	事業内容
大日本ダイヤコンサルタント株式会社	東京都千代田区	1963年1月	13億99百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント 地質調査
NEテクノ株式会社	埼玉県さいたま市	2009年10月	20百万円	100%	6月30日	建設コンサルタント
Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.	ベトナム国 ホーチミン市	1996年11月	300 (Thousands of U.S. dollars)	100%	6月30日	CAD設計
有限会社エーシーイー試錐工業	北海道 札幌市	1990年6月	3百万円	100%	5月31日	各種調査ボーリング
合同会社ふじおやまパワーエナジー	静岡県 駿東郡小山町	2018年8月	10百万円	80%	3月31日	エネルギーサービス
株式会社清流パワーエナジー	岐阜県 岐阜市	2015年11月	60百万円	50%	3月31日	エネルギーサービス



DNホールディングス



有限会社エーシーイー試錐工業





# 株式状況（2023年6月30日現在）

## 株式状況

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	8,420,000株

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	比率（%）
光通信株式会社	580	7.21
D Nホールディングス社員持株会	490	6.10
D Nホールディングス社友持株会	399	4.96
ダイヤコンサルタント職員持株会	345	4.29
株式会社北陸銀行	325	4.05
株式会社U H P a r t n e r s 2	294	3.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	274	3.41
古河機械金属株式会社	190	2.36
株式会社三菱U F J 銀行	189	2.35
川田テクノシステム株式会社	172	2.14

注1 比率は、発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する持株数の割合を示しています。

注2 大株主の表には、当社が所有する自己株式373千株は除外しています。

注3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数のうち、信託業務に係る株式数は274千株です。なお、その内訳は、信託口137千株、退職給付信託口137千株です。

# 株主メモ

## お問い合わせ窓口

DNホールディングス株式会社 経営企画本部  
電話番号：03-6675-7002（代表）  
e-mail：info@dcne.co.jp

## IR年間スケジュール



## ホームページのご案内

企業情報、事業概要、IR情報などを公開しております。

<https://www.dcne.co.jp/>



## 注意事項

- 本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における当社グループの業績が、現在の当社グループの将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



DNホールディングス株式会社

人と自然が微笑む社会へ

